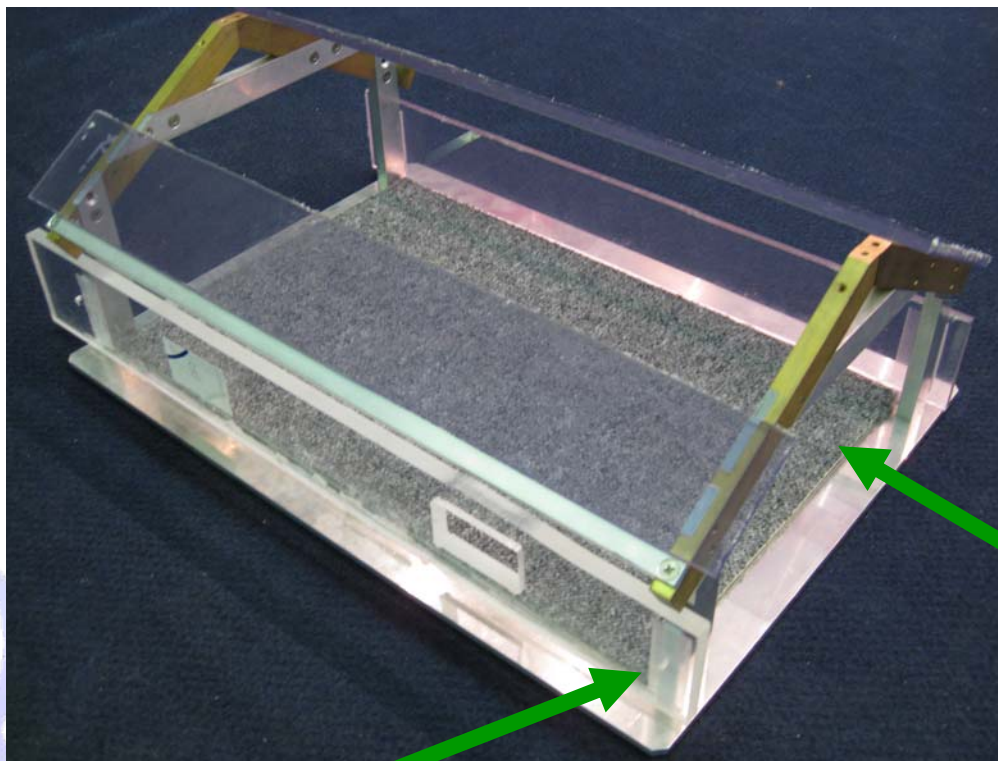


各種ガレキに関する変更

- ・特殊ガレキ（家ガレキ）について
 - ・路上ガレキについて
- 第10回における路上ガレキの考え方
路上ガレキの変更
新路上ガレキ

特殊ガレキ（家ガレキ）について



第9回からの変更点

— 壁部 —

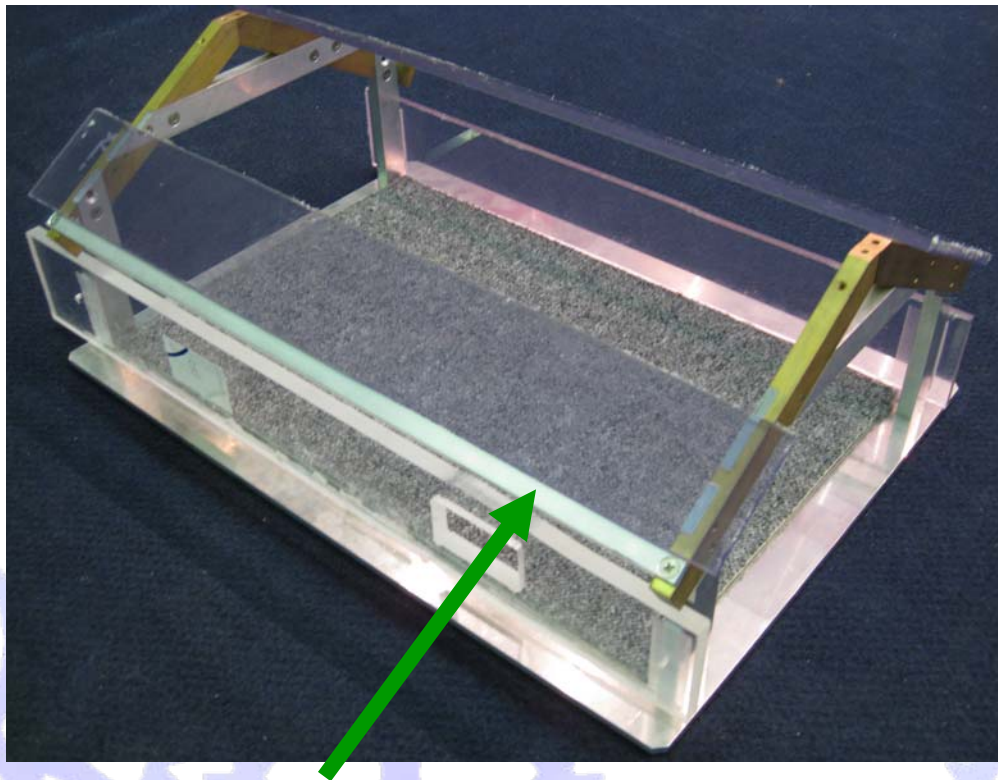
短辺側から**長辺側**へ
固定型をやめ、
取り外し可能型に

短辺側に壁はなし

柱との固定にはマジックテープを使用
窓・梁との隙間などを使って取り外しが可能

壁の材質は 5 mm 厚の塩ビを予定

特殊ガレキ（家ガレキ）について

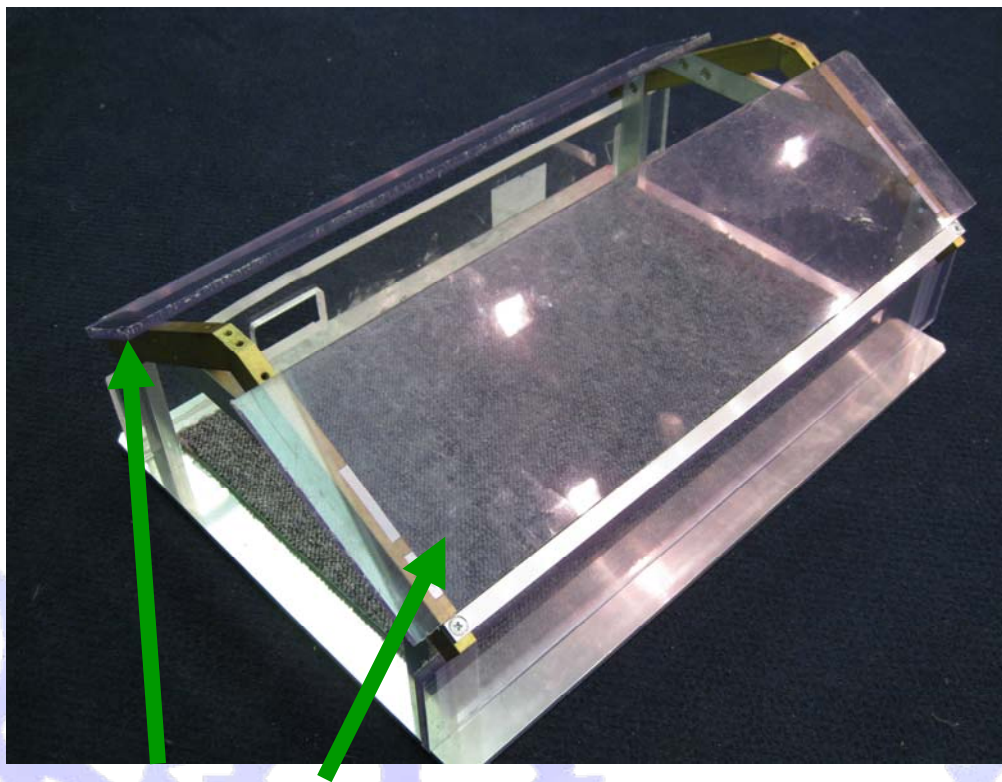


第9回からの変更点
— 屋根部 —
中心部の梁を削除
屋根を設置
(乗せているだけの
取り外し可能型)

梁に乗せているだけなので用意に取り外せる

壁の材質は 5 mm 厚の塩ビを予定

特殊ガレキ（家ガレキ）について



第9回からの変更点
－ 屋根部 －

中心部の梁を削除

屋根を設置

（乗せているだけの
取り外し可能型）

左右で大きさが異なる

壁の材質は 5 mm 厚の塩ビを予定

路上ガレキ について

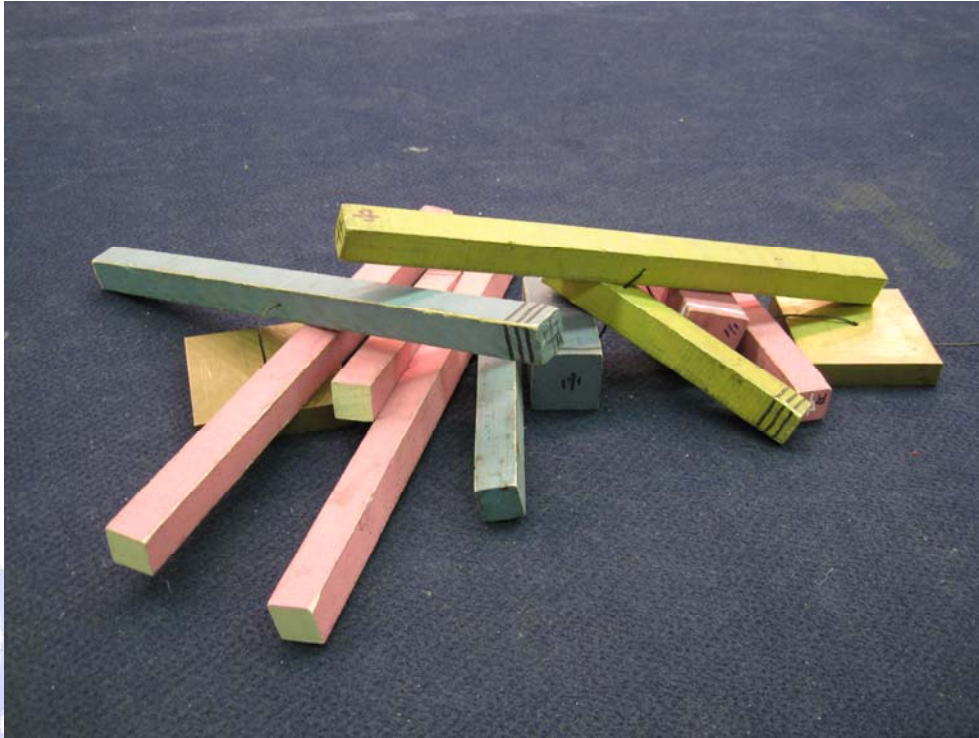
コンセプト

ガレキを「押しのける」から「**乗り越える**」へ

第9回までに使用していた路上ガレキの中から
ある基準より大きいガレキ, 重いガレキ以外の採用を中止

第10回では「連結ガレキ(仮)」と「倒柱ガレキ(仮)」を追加

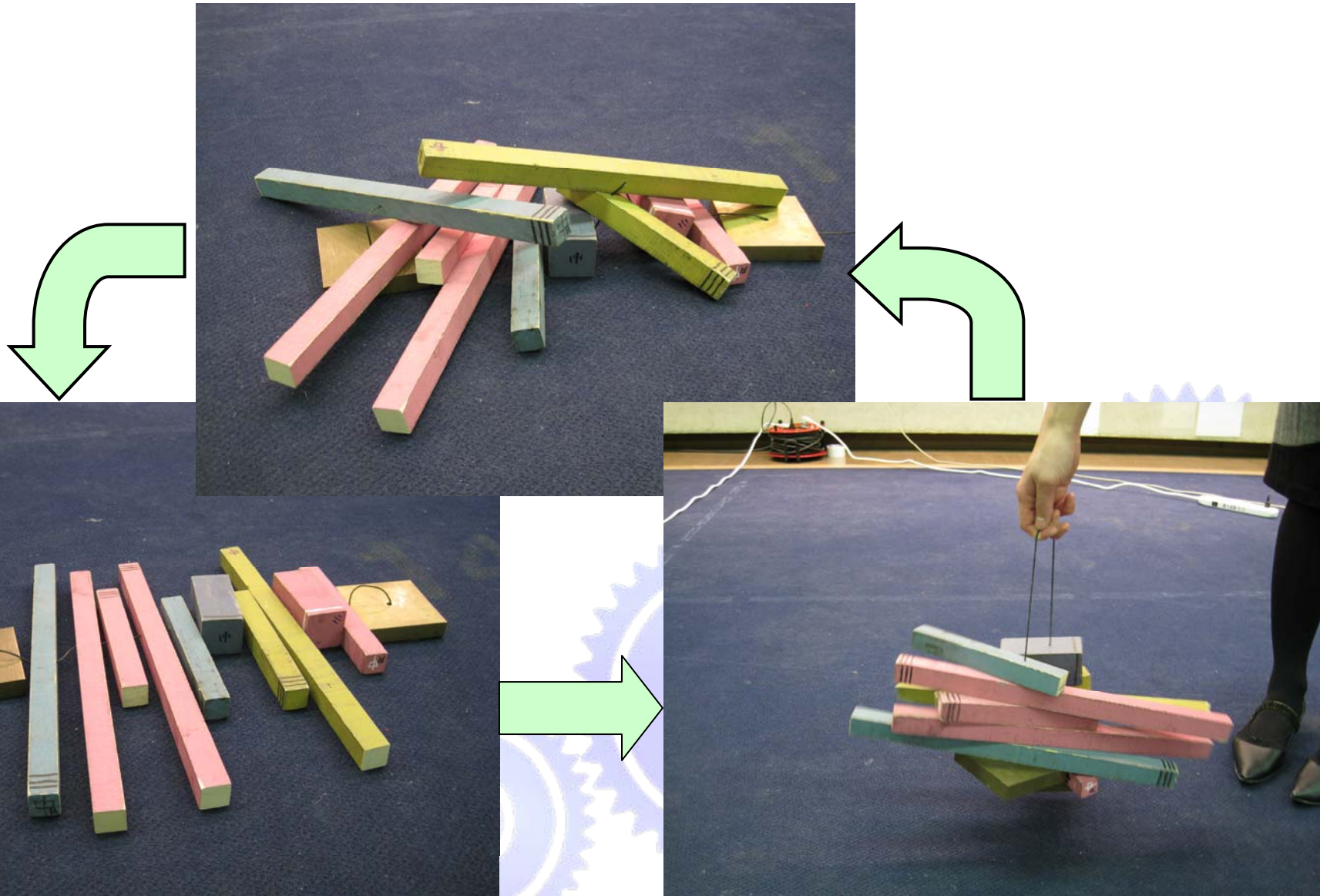
連結ガレキ について



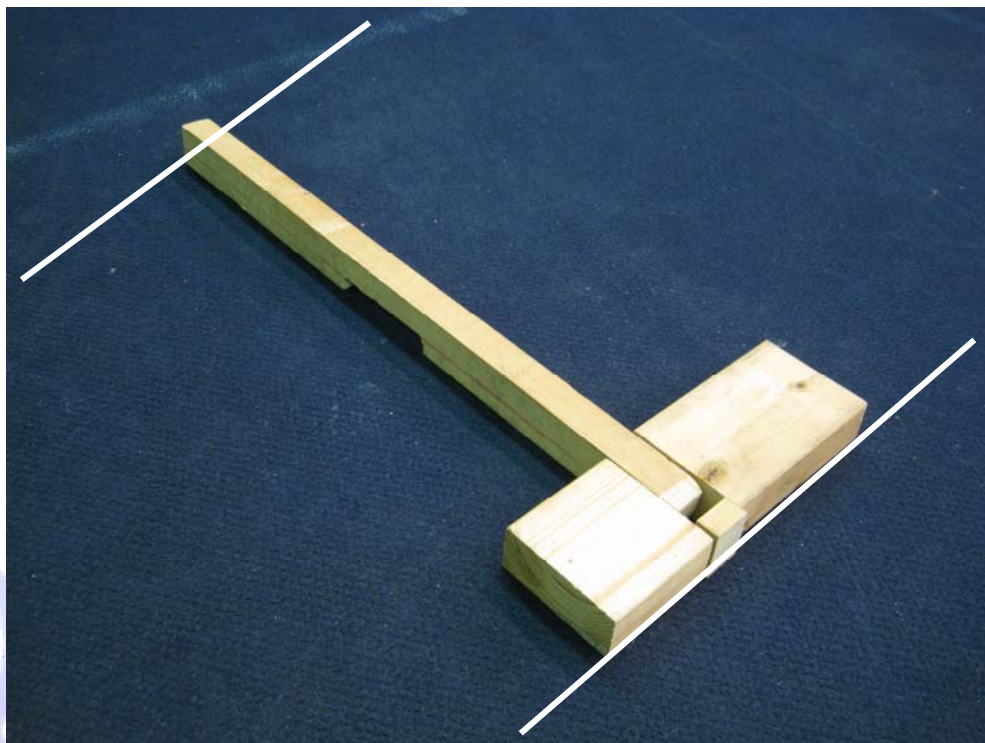
- これまでのガレキを利用
- すべての木材をワイヤーもしくは紐にて連結
- 両端の真鍮製ガレキにより重い

10th RESCUE ROBOT CONTEST

連結ガレキ について



倒柱ガレキ について



ガレキのコンセプト

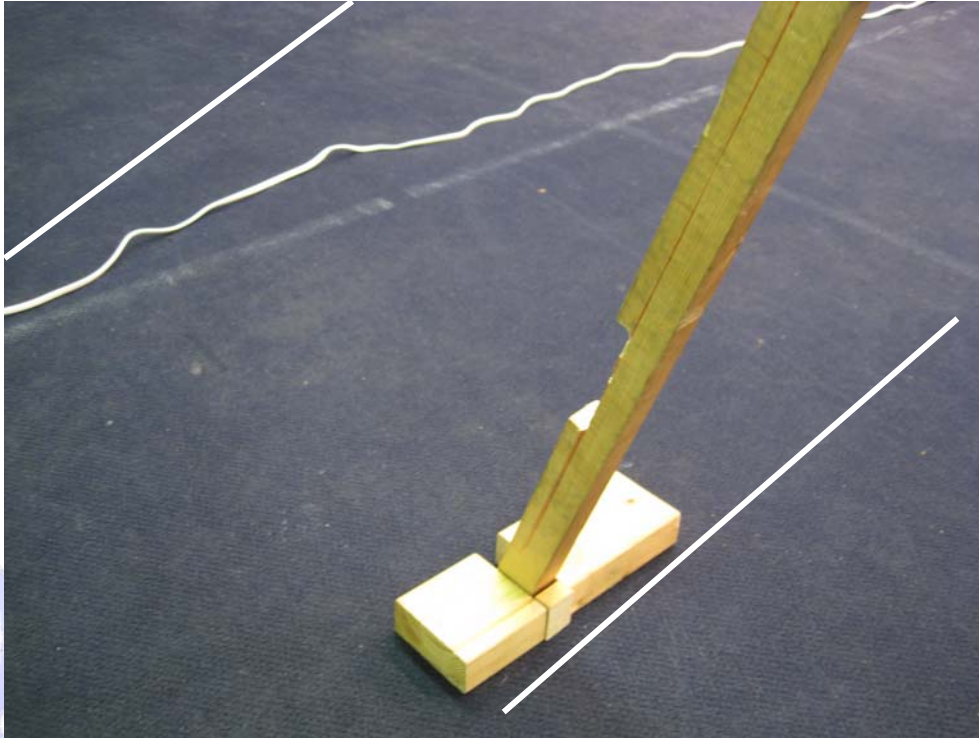
- ・柱が倒れている
- ・道幅が狭くなっている

乗り越えることが可能
ただし・・・

ダンパーなど防振装置を
備えていないと
搬送中のダミヤンにダメージ

柱の高さは約 40 mm

倒柱ガレキ について



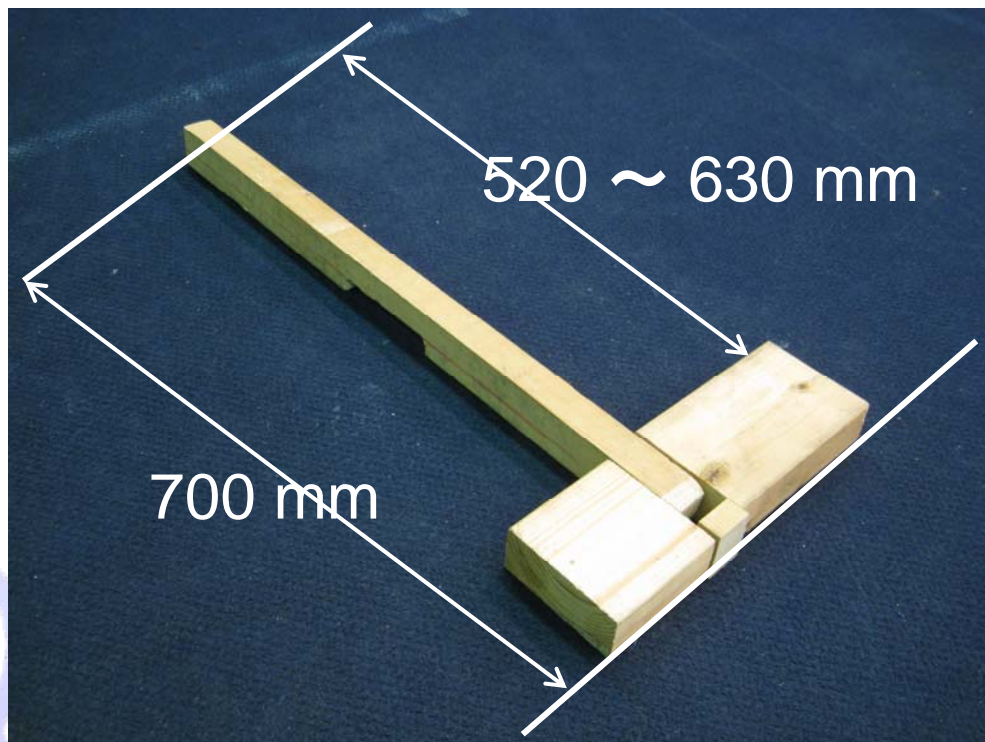
ガレキのコンセプト

- ・柱が倒れている
- ・道幅が狭くなっている

倒れた柱は動かすことが可能

搬送前に通路を確保しておけば
ダミヤン搬送も安心

倒柱ガレキ（仮）について



ガレキのコンセプト

- ・柱が倒れている
- ・道幅が狭くなっている

中型のレスキューロボットであればガレキを除去すれば通行が簡単に！

大型機は・・・
乗り越える必要がある

10th RESCUE ROBOT CONTEST

各種ガレキに関する変更

ガレキの詳細については

12 月 22 日までに

レスコンHPに公開します

